

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20221006	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	生命現象の解明に資する革新的高速AFMの開発	研究代表者 (所属・職)	安藤 敏夫（金沢大学・数物科学系・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>AFM はカンチレバーを試料表面上を走査して画像を撮る方法であるため測定時間が長いことがこれまでの最大の難点であった。研究代表者はこの常識を覆し、ビデオレートでイメージングするAFMを世界で初めて開発した研究者であり、これにより液中の生体分子観察などが可能となりつつある。本研究は、これまでの技術と応用の発展を目指した研究研究である。その成果は予想を超える優れたものであり、Nature や PNAS、 Biophys. J などの超一流誌で発表されており、期待以上の成果が見込まれる。</p>		